

# 与論高等学校の教育目標と重点目標

**【教育目標】** 憲法，教育基本法の精神にのっとり，「好学の気風」「創造の精神」「親和の態度」「不屈の根性」の校訓のもと，知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で豊かな人間形成をめざし，わが国の文化と伝統を尊重する態度と国家・社会の進展に寄与できる有為な人材を育成する。

**【重点目標】** 予測が困難な時代を主体的に生き抜く力をもった生徒を育成する。

## 豊かな人間性

- 豊かな教養とともに，人権に対しても深い認識をもっている。
- わが国や郷土・与論島のもつ良き自然と伝統・文化を愛し尊重することができる。

## 健康・体力

- 基本的な生活習慣を確立している。
- 体力づくりに努め，自ら健康を管理できる。
- 疾病等への予防・対応の意識をもっている。

## 資質・能力の育成

### 何ができるようになるか

○学校教育の基本

- 学ぶことの意義を理解し，未知の状況の中で，正解のない問いに対しても，よりよい解決策を見出すために，多様な人々と協働しながら，粘り強く取り組むことができる。

### 何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 目標に適した単元テストの実施（妥当性）
- 単元毎の評価に基づく補充指導の充実と授業改善（「指導と評価の一体化」の具現化）
- 評価結果の生徒による理解と活用

### 生徒の実態

- 純朴・素朴・素直
- 離島のため情報や刺激が少ない。
- 学習意欲が低い生徒，学習習慣が身に付いていない生徒が少なくない。

### 生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- 居場所としてのホームルームづくりの推進
- 職員間の情報共有とチームによる生徒支援
- スクールカウンセラーと連携した教育相談の実施による生徒・保護者支援

### 目指す生徒の姿

- 自ら学ぶ意欲と社会の変化への適応力をもつたくましい生徒
- 豊かな教養とともに，人権に対しても深い認識をもつ生徒
- わが国や郷土・与論島のもつ良き自然と伝統・文化を愛し尊重する，心豊かな生徒

### 何を学ぶか

○教育課程の編成

- 学習の基盤となる「言語能力」の重視
- 持続可能な社会をつくる力の重視（海洋教育）
- 各教科等で育成する資質・能力の明確化
- 生徒の実態を踏まえた授業デザインの充実

### どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 単元シラバスに基づく主体的な学び
- 教科等における探究的な学び
- 地域と連携した協働的な学び
- 個に応じた学び

### 実施するために何が必要か

○指導体制の充実，家庭・地域との連携・協働

- 授業改善と学習評価の工夫・改善
- 教職員の専門性を高める研修機会の充実
- ICTの積極的活用
- 教育資源の活用と開発（海洋教育／キャリア教育）
- 外部講師による講演等の充実
- 学校評価の活用と充実

### 安心・安全を守る

- いじめ・体罰の根絶
- 危機管理（防火・防災等）の徹底と意識の醸成
- 幼・小・中学校と連携した保健指導の充実
- 教育相談の充実

### 開かれた学校づくり

- 広報活動の充実（学校ホームページの充実／学校広報紙『みちしるべ』の発行／『校長通信』の発行）
- 地域機関との連携・地域行事への参加

## 《与論高等学校の教育目標》

憲法，教育基本法の精神にのっとり，「**好学の気風**」「**創造の精神**」「**親和の態度**」「**不屈の根性**」の校訓のもと，知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で豊かな人間形成をめざし，わが国の文化と伝統を尊重する態度と国家・社会の進展に寄与できる有為な人材を育成する。

### 《重点目標》

#### 予測が困難な時代を主体的に生き抜く力をもった生徒を育成する

予測が困難な時代を主体的に生き抜くためには，「学ぶことの意義を理解し(**好学**)，未知の状況の中で，正解のない問いに対しても，よりよい解決策を見出す(**創造**)のために，多様な人々と協働しながら(**親和**)，粘り強く取り組もうとする力(**不屈**)」が必要である。

校 訓	好 学	創 造	親 和	不 屈
資質・能力の三つの柱	学問を好むこと。学問に興味や関心をもつこと。	それまでなかったものを初めてつくり出すこと。	互いに親しみ，心を合わせること。	困難に屈せず意志を貫くこと。
<何を理解しているか・何ができるか> 生きて働く <b>知識及び技能</b>	「学ぶこと」の意義の理解と，「学び方」に必要な技能  <b>※自律性</b>	問題の解決に向けて，既得の知識・技能を活用したり，新しい知識・技能と関連づけて考えたりする方法の理解と，そのために必要な技能  <b>柔軟性</b>	多様性に対する理解及び協働して学び合うことの意義の理解と，そのために必要な技能  <b>協調性</b>	目標をもって粘り強く取り組むことの意義の理解と，そのために必要な技能  <b>計画性</b>
<理解していること・できることをどう使うか> 未知の状況にも対応できる <b>思考力，判断力，表現力等</b>	問題の解決に必要な知識・技能は何かを自己と関連づけて考え，整理し，それを学び取ることができる力  <b>応用力</b>	問題の解決に向けて，既存の価値観にとらわれないことなく，新たな意味や価値を生み出すことができる力  <b>問題解決力</b>	問題の解決に向けて，多様な人々と考えを伝え合い，合意形成を図ったり，自己の考えを深めて表現したりすることができる力  <b>発信力</b>	問題の解決に向けて，各教科等で身に付けた力を統合的に活用し，粘り強く取り組むことができる力  <b>実行力</b>
<どのように社会・世界と関わり，よりよい人生を送るか> 学びを社会や人生に生かそうとする <b>学びに向かう力，人間性等</b>	「学ぶこと」を自らのキャリア形成の方向性と関連づけ，今後の成長のために学び続けようとする態度  <b>生涯学習基礎力</b>	自ら問題を発見し，その解決策を見出す姿勢を，よりよい人生や社会の構築に生かそうとする態度  <b>構想力</b>	多様な人々と体験的な活動を通して協働しながら，よりよい人生や社会を構築していこうとする態度  <b>実践力</b>	困難な状況でも目標に向かって粘り強く取り組もうとする態度  <b>忍耐力</b>

※各枠内に示した資質・能力は，相互に関連させながら育成を目指す主なものである。